

顛末書

会議の名称	中野市北部地区小学校統合準備委員会 第3回 地域・PTA部会
日時	平成29年5月31日(水) 午後6時30分～午後7時55分
会場	平岡小学校 視聴覚室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員13名 部会長 江口明男 職務代理 青木修 委員 上野広樹、小林浩美、関口恵、塚田秀人、小林謙二、吉家一雄、 田中功、宇田和彦、武居和紀、大澤幸、原沢あけみ ・事務局職員 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、田中副主幹、 徳竹主事、池田指導主事
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部会長あいさつ 3 職務代理の指名について 4 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) PTA会則等について (2) 次回の日程について 5 その他 6 閉会
主な質問・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ●PTA交流事業については、参観日や学校公開の日にあわせて、実施することはできないか。 ●急に交流となっても慣れない面もあり、なじまないこともある。できれば、統合前の準備段階で、PTAの交流があってもよいのでは。 ●PTAも新しい学校の様子をみたいと思う気持ちがあると思う。 ●施設内を見学するだけでなく、平岡小学校のPTAが、施設の案内役になることでも、一つの交流の機会になるのではないか。 ●教育課程の中で、児童と保護者をいっしょにという交流は、準備等が大変であり、学校現場としては、なかなかむずかしい。仮にやるとしても、現在の学校教職員の負担にならないように、配慮してほしい。 ●会則を決めていく過程も、PTA交流の一つになるのではないか。 ●学年で会長を選ぶのが妥当だと思う。また、平岡小学校から選任することがスムーズだと思う。 ●2年間続けて、PTAの役員をすることは、負担が大きいのか。 ●須坂市の学校では、5年間、PTAの役員を継続する例もある。 ●おおよそのローテーションを決めておく必要があるのではないか。
今回のまとめと今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校のPTA交流事業は必要。 ●統合校の校舎等となる平岡小学校の授業参観時に、長丘、科野、倭小学校の保護者の皆様を招くことを学校と調整後に実施する方向を確認。 ●高社中学校PTA会則をたたき台に、会則(案)を作成し、新しい学校のPTA会則(素案)の作成を進めていくことを確認した。